



～「本のまち」から～



聖籠町立図書館通信

2024.4

No. 30

2024年 4月 2日 発行

編集・発行 聖籠町立図書館

URL <http://www.lib-seiro.jp>

MAIL info@lib-seiro.jp

おかげさまで図書館は

今年10周年を迎えます！



桜が美しい季節になりましたね。図書館の大きな窓から見える2本の桜の木も見頃を迎えます。この季節の景色は、特におすすめなので、本を借りたついでに眺めたり、癒されにきてください。

さて、町民の皆さんに支えられ、今年聖籠町立図書館は10周年を迎えます。以前は町民会館内にあった図書館がこの地に移り、開館したのが平成26年6月10日。どの世代の方にも利用しやすいよう、平屋でバリアフリーの図書館が誕生しました。

みなさんにとって大切な1冊、お気に入りの1冊に出会えますように…。これからも多くの方に利用してもらえますように…。図書館職員みんなの願いです。今年度は利用者の方に更に楽しんでいただけるよう、令和6年度を通して多くのイベントを企画しています。館内でもお知らせしていくので、是非図書館に足をお運びください。



～図書館員のここがおすすめ その③～ 「おはなしのへや」

小さなお子様連れの方には、嬉しいじゅうたん敷きのへやです

大型絵本を家族でみたり、紙しばいを読んでもらったりできる部屋です。

扉もある為、読み聞かせの音や声を気にするお子連れの方も、安心して利用

出来ます。第1金曜・第4土曜は図書館員、

第2土曜はボランティアサークル

「赤いふうせん」による読み聞かせを行っています。

どうぞお越しください。



今号のおすすめ本



『ほんのまち』を愛する図書館員のおすすめの本をご紹介します！読む本に迷った時に、参考にしてみてください。

「死ね、クソババア！」と言った息子が55歳になって帰ってきました」

保坂祐希/著、講談社

息子が家を出て行く時に口にした言葉の裏側にあった気持ち
主人公の生き方が徐々に
わかり、わかり合えた時、
ほろりと涙が出そうになります。

(図書館職員 K さん)



「リラの花咲くけものみち」

藤岡陽子/著、光文社

心に傷を負った少女が祖母の支えや、心を許せる友達との出会いによって成長していく物語。

主人公とともに
「生きること」について
考えてみて下さい。

(図書館員 K さん)



「ゆきとおじいちゃん」

ホンマジュンコ/著、新潟日報メディアネット

東京出身、小学生のゆきは新潟の祖父母と暮らすことになります。はじめての転校、はじめての新潟の暮らしに戸惑うことも…。

やわらかいタッチの
絵と、馴染みのある
新潟生活がほのぼのと
させてくれる
コミックエッセイです。
(図書館員 M さん)



「ぼくのいぬはどうしてこんなに
かわいいのか」

しゅん/作、KADOKAWA

小学2年生のしゅんくんは大好きな飼
い犬のチャコのことをもっとよく知りた
い、夏休みの自由研究を
することにしました。

愛情がよく伝わってきて
心が温くなる絵本です。
(図書館員 M さん)



～おすすめの本を募集しています～

あなたが図書館で出会った素敵な本を、他の人にも紹介してみませんか？ 題名と著者とコメントを紙に書いて図書館へお寄せください。

聖籠町立図書館
SEIRO TOWNSHIP LIBRARY

〒957-0117

新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山 1560 番地 1

電話番号：0254-27-6166 FAX：0254-27-6167

